



## 南三陸通信 Vol.6

東日本大震災復興支援として、宮城県南三陸町へ現在派遣している白武和磨主査からのお便り第6号です。

高台の復興拠点事業では、宅地の造成に伴う切土が行われ、その切土が志津川市街地復興土地区画事業で使用する盛土材として搬入されました。土地区画整理事業認可を経て現場着手にたどり着くことができ、「ほっ」としています。現場が滞ることなく工事できるようにこれからもがんばってまいります。

関連事業の直轄国道、県管理道路、河川堤防、防潮堤の各工事については、2月の工事発注をめどに調整しています。公募を通じた入札を経て、来年4月には、関連事業も志津川市街地において工事に着手できる予定です。

今後は、電線、地下光ケーブルの占用物件の移設について詳細をつめていきます。

1月号掲載15ページ 多久中央男子駅伝チーム記事の九州中学駅伝大会の選手写真説明に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。  
誤：北川智也選手(3区) → 正：諸石大蔵選手(5区)



▲出発式でテープカットを行う山本議長(左)、尾市長(中)、昭和自動車(株)タクシー事業部総務課長(右)

バスを運行していない地域の生活交通手段を確保する取り組みとして、予約型乗り合いタクシー「多久デマンドタクシー」の運行を開始しました。その出発式を、1月6日(月)に昭和自動車(株)タクシー事業部多久営業所で行いました。

## 多久デマンドタクシー 運行開始!

運行します。なお、乗車には予約が必要です。

エリア内の公共施設、病院、商店などのほか、市役所、市立病院、JR多久駅、フードウェイで乗降できます。利用料金は、1乗車あたり大人(中学生以上)が300円、小学生が200円です。

多久デマンドタクシーをご利用の際は、登録証が必要ですので、事前に利用登録申請書の提出をお願いします。申請書は市役所総合政策課、各地区公民館、多久市ホームページにあります。

### 問い合わせ

総合政策課 ☎75-2116

## 全国で5位の活躍!



「1セット目で硬さがでて実力を出し切れず悔いが残った」と田中さん(写真右)。江里口さん(写真左)は「もう一つ上に行きたかった。気持ちを強くするよう頑張りたい」と今後について話しました。

平成25年12月21日～25日の日程で、第22回全国バドミントン選手権が山形市で開催され、田中果帆さん(中央校6年)と江里口玲奈さん(東部校6年)が佐賀県を代表して、団体戦と個人ペアで出場。個人ペアでは、1回戦を順当に勝ち、進んだ2回戦、第3シードを破る金星をあげましたが、準々決勝で大阪代表に惜しくも敗れてベスト8の結果でした。

## 市長コラム

## 温故創新

Message for citizen

### 健やかな日々のために

市長 横尾俊彦

長寿が増える高齢社会への備えは全国でも重要テーマである。昨年、健康・医療・介護・市民参加などの綿密な項目による高齢社会対応度調査が行われ、多久市は県内トップ、全国812市区の中で13位と先に紹介した。健やかな日々への備えは地道な日々の積み上げが肝心。

その健やかさを思うと、どうやら今年には体調管理が大事だと警鐘の冬のように思う。インフルエンザは今季はさほどではないかと思ったが、1月半ばに県内は要注意地域となり学級閉鎖も出た。

いつも以上に増えているのがノロウイルス感染による下痢・嘔吐の発症と聞く。その感染力は強く、急激な症状の発症が見られる。予防は第一に手洗い、第二に手洗い。清潔が必須で基本。

先日、遠来のお客様と貴重な意見交換をした。その方は途中でおなかの具合が良くないとのこと。で気になったが、無事に握手してお見送りした。

しばらくするとその随行者から「先程、福岡空港内の医院で受診したらノロウイルス感染と言われたので、握手された市長さんにお伝えします」とのこと。「これは大変」。改めて手洗いなどしたが気になる。そのまま時間経過。症状は出ない。

そして夕刻にメールが来た。「どうも普通の胃腸炎のようです」。まずは、ほっとした。

同時に「そうかこうして感染する」と実感させられた。ウイルス感染は身近にある。県内ではノロは年間を通して活発と聞いたこともある。要注意は年間行事が賢明のようだ。手洗い手洗い!